

宮島誠一郎関係文書（追加）目録

国立国会図書館憲政資料室
2010年12月現在

宮島誠一郎関係文書（追加）の概要

受入事項：所蔵

資料形態：原資料

数量：610点

書架延長：1.5m

旧蔵者：宮島誠一郎（みやじま せいいちろう）・宮島大八（みやじま だいはち）

旧蔵者生没年：宮島誠一郎 1838-1911 宮島大八 1867-1943

旧蔵者履歴：

【宮島誠一郎】

天保 9(1838).7.20 山形生まれ。明治 3(1870).1 待詔下院出仕、明治 4(1871).7 左院大議生、明治 5(1872).3 左院少議官、1875.7 権少内史、1876.6 修史局御用掛、1877 修史館御用掛、1879.12 兼宮内省御用掛、1884.12 参事院議官補、1886.2 宮内省華族局主事補、1888.5 爵位局主事補、1893.3 非職、1896.1 貴族院議員、1911.3.15 死去。号は栗香。養浩堂とも。

【宮島大八】

慶応 3(1867).10.14 山形生まれ。宮島誠一郎の次男。1887.5 清国留学、保定の蓮池書院に張裕釗（廉卿）を訪ね入門、1894.10 帰国、1895.2 東京帝国大学文学部講師、1895.5 平河町に詠帰舎を開設（のち善隣書院と改称）、1897.9 東京高等商業学校附属外国語学校講師、1900.9 東京外国語学校講師、1943.7.9 死去。号は詠士。

受入公開：2008年9月個人より譲渡、2009年3月30日公開（442点）。2009年8月追加購入、2010年12月25日公開（168点）。

関連資料の所在：

『宮島誠一郎文書目録』早稲田大学図書館、1997年

関連文献：

【資料紹介】

西川誠「宮島誠一郎」『近現代日本人物史料情報辞典』1、吉川弘文館、2004

安在邦夫「宮島誠一郎文書について」『幕末維新期の情報活動と政治構想 宮島誠一郎研究』由井正臣編、粹出版社、2004

【資料集（翻刻）】

魚住和晃「宮島大八の書簡 明治24年中国から父に宛てた22通」、『書論』23号、1984

杉村邦彦・寺尾敏江編「宮島詠士清国留学書簡」1～3、『京都教育大学紀要』A（人文・社会）91・92・94号、1997～1999

信廣友江「宮島家文書・駐日公使等筆談」1～4、『中国学論集』21～24号、1998～1999

【伝記】

『幕末維新期の情報活動と政治構想 宮島誠一郎研究』由井正臣編、梓出版社、2004

『戊辰雪冤：米沢藩士・宮島誠一郎の「明治」』(講談社現代新書)友田昌宏、講談社、2009

『宮島詠士 人と芸術』魚住和晃、二玄社、1990

『宮島家三代』米沢市上杉博物館、2005

『書論』23号(特集宮島詠士)、1984

主な内容：

「宮島誠一郎関係」と「宮島大八関係」の二つに大別しているが、両者の間に書簡も交わされていることから、大八関係に誠一郎の資料が入ることもあり、またその逆もある。それぞれ「書簡」・「書類」・「漢詩文」の三分をし、そのなかに細目を設けた。

1. 宮島誠一郎関係

書簡

「諸氏書簡」・「家族間書簡」・「第三者間書簡」に分けている。

「諸氏書簡」は明治10年代から30年代の宮島誠一郎に宛てられた書簡を中心とし、「国憲編纂起原」の提出に関する岩倉具視の書簡や、黒田清隆に大八の「対清策」を提出した関係の書簡、駐日英公使アーネスト・サトウの書簡など著名な人物からの来簡が含まれている。伊藤博文の立憲政友会設立の報知状には、立憲政友会趣旨書と関係の中央新聞号外とが同封されており、誠一郎の書込みがある。

なかでも元田永孚からの書簡が多く見られ、そのうちの多くは沼田哲・元田竹彦編『元田永孚関係文書』(山川出版社、1985年)に収められているが、新出のものもいくつかある。勝海舟や吉井友実らと親しかった誠一郎は、宮中出仕後、元田とも親しく交際したようである。「家族間書簡」には、明治24年、元田・吉井・三条実美らの相次ぐ死去に落胆する誠一郎の書簡が含まれている。

また、明治31年3月、徳川慶喜は明治天皇に拝謁を行ったが、その前年の明治30年、巡幸帰途の明治天皇に拝謁しようとしている。「徳川慶喜一条」(2537,2538,2543~2545)には、この仲介を誠一郎が勝海舟・土方久元の間で行った際の資料がまとまっている。なお清国公使館関係者の書簡は、「書類」の「清使交友関係」にまとめた。

「家族間書簡」は、明治20年に宮島大八が清国へ張廉卿を訪ねて渡航してから27年に帰国するまでの間の、留守家族から大八に宛てた書簡であり、薄い罫紙(養浩堂のものが多く)に墨書されている。誠一郎からのものが中心であるが、弟妹が稚ない筆で書いた書簡も見られる。留学先の大八から家族に宛てた書簡は既に杉村邦彦・寺尾敏江編「宮島詠士清国留学書簡」に紹介されており、本資料の公開により対照して読むことが可能となる。

「第三者間書簡」は、誠一郎の漢詩文の先生にあたる窪田梨溪の晩年の書簡や、詩集刊行に関する弟子筋問での書簡である。

書類

「書類」は、日記・清使交友関係・その他に分けている。まず日記が13歳の少年期のものから晩年のものまでである。これまでに公開されている日記とはほとんど重ならないものであるが、誠一郎は自身の日記を繰り返し編纂しているため、既に公開されている日記・資料と重複するところもあると思われる。「栗香漫筆 東海道十九日記」は早稲田大学図書館の目録にも掲載されている資料を明治16年に清書したものと考えられる。

「養浩堂私記」は、明治5年から18年に及ぶ日清関係・朝鮮関係を中心とした日録形式の編纂記録である。縦帳で全8冊からなる。「養浩堂私記」の標題をもつ資料は、憲政資料室所蔵「宮島誠一郎関係文書」中に二綴あり(1018-2・3)、早稲田大学図書館所蔵「宮島誠一郎文書」中にも「戊辰以来戊戌五月八日編纂」の副題で縦帳6冊が存在する。前者は「養浩堂私記」(2556)のうち巻一・二の草稿である。

「清使交友関係」には、明治10年代から日本に駐在するようになった清国公使館関係者たちとの筆談録や書簡を収めている。書簡といっても絵入りの一筆箋に墨書された簡潔なメッセージが大半である。筆談録のうち黎蕪斎との筆談は信廣友江「宮島家文書・駐日公使等筆談」に影印と翻刻が紹介されている。

「その他」には、幕末期の風説留や明治17年3月に元田永孚から漏らされた宮中改革の事情を書きとめたものなどがある。金玉均の「甲申日録」が元田永孚の題字入りで抄録の冊子となったものもあり、その包紙から川上操六が誠一郎に送ったものであることがわかる。金玉均の書簡や誠一郎の詩に対する賛もある。また、交遊簿が3冊あり、誠一郎の交友関係を一覧できる。

漢詩文

宮島誠一郎は明治の漢詩人としても知られており、詩集草稿などの資料は早稲田大学図書館所蔵資料中に多く保管されている。「漢詩文」はその補遺にあたる詩稿類である。青年期の添削をうけた詩稿が数冊あるほか、黎庶昌の跋文があるものもある。

2. 宮島大八関係

書簡

「宮島大八書簡」・「宮島大八宛書簡」・「第三者間書簡」に分けている。「宮島大八書簡」は宮島大八発信書簡の草稿・控と、明治21~22年にかけての誠一郎宛書簡がまとまっている。「宮島大八宛書簡」には、緒方竹虎・工藤忠(鉄三郎)・川島浪速・牧野伸顕・吉田茂・今村貞治・柴五郎などの書簡が含まれている。中国通の国士であり書の大家であった彼は官僚・軍人・政治家らと交流をもったようである。「第三者間書簡」には、川島浪速宛恭親王書簡のように、大陸問題に関係するものも入っている。

書類

「日記」・「陸軍関係」・「中国情勢」・「中国問題」・「その他」に分けている。「日記」には日清戦争開戦以来の数ヶ月間の日記がある。「陸軍関係」は、陸軍関係規則を漢文で書いたも

のであり、添削が多い。

「中国情勢」には、川島浪速からの報告をはじめ、中国に活動する人々からの情勢報告を中心とする資料を入れている。大作理三郎の雲南革命に関する情勢報告や興安西分省林西県参事官であった岸要五郎の林西県に関する報告などがある。また、大八自身の意見書類もある。「中国問題」は、「支那問題」と標記された一括資料のまとまりのなかから書簡を除き、大陸関係の資料を加えたものである。反故に近い覚書類が多いのが特徴である。満洲関係の資料もいくつか含んでいる。

「その他」には、阿部守太郎殺害事件に関与した善隣書院学生の裁判判決文や、明治 14 年の行幸地図などがある。

漢詩文

宮島大八は父誠一郎や黎庶昌らから漢詩の添削をうけて詩作を学んだようである。「宮島誠一郎関係」の「家族間書簡」からは、大八の漢詩を誠一郎が批評し、また誠一郎から黎らに添削を仰いだことが見て取れる。そうした大八の詩集として「遊学草 詠帰詩集」が本資料群に入っている。水損や表紙の破損したものが多いが、冊子体の詩集が数冊ある。

【凡例】

・本資料群は、既に当室が所蔵している宮島誠一郎関係文書に追加して、遺族より譲渡されたものである。当室へ移管される以前に所蔵者によって資料の簡単な分類がなされていたが、当室での整理にさいしては資料内容からこれらの配列を改め、再編成した。

・2009年に公開した文書には2001番から、2010年に公開した文書には2501番から番号を付した。

・当目録の記述項目は、標題／年代／作成／宛先／数量／記述法／内容・書き出し／備考である。

・標題で、整理者のつけたものには[]を付した。

・年代で、整理者の推定した年代には()を付した。

・記述法では、ペン書き→「ペン」、毛筆→「墨書」、活版印刷・活字体→「活版」などと略記した。

・ホチキスなど金具類の除去をおこなった。除去にさいしての記述はしていない。

・既に活字媒体で紹介されている資料については備考欄に言及した。

参照した文献は以下の通りである。

沼田哲・元田竹彦編『元田永孚関係文書』、山川出版社、1985年

信廣友江「宮島家文書・駐日公使等筆談(三)」、『中国学論集』23号、1999年

信廣友江「宮島家文書・駐日公使等筆談(四)」、『中国学論集』24号、1999年

※本目録は、憲政資料室が池田勇太氏（東京大学大学院人文社会系研究科）に依頼して作成したものである。その後、栢居宏枝氏（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）により補われた。

【目次】

1. 宮島誠一郎関係

書簡	1
諸氏書簡	1
家族間書簡	8
第三者間書簡	12
書類	13
日記	13
清使交友関係	14
その他	17
漢詩文	18

2. 宮島大八関係

書簡	19
宮島大八書簡	19
宮島大八宛書簡	20
第三者間書簡	25
書類	25
日記	25
陸軍関係	25
中国情勢	25
中国問題	28
その他	31
漢詩文	32

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
1. 宮島誠一郎関係									
書簡									
諸氏書簡									
2001		[伊藤博文書簡宮島誠一郎宛]	明治20年5月8日	伊藤博文	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	勝安芳叙爵の件	封筒入り
2002		[伊藤博文書簡宮島誠一郎宛]	4月26日	伊藤博文	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2003		[伊藤博文書簡宮島誠一郎宛]	6月7日	伊藤博文	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2004		[封筒 春畝公爵書翰勝翁授爵之節]	大正2年4月閏			1枚	墨書		中身なし
2005		[封筒 伊藤博文公書翰六通]	大正11年2月13日			1枚	墨書		中身なし
2006		[岩崎弥太郎書簡宮島誠一郎宛]	明治8年4月10日	岩崎弥太郎	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2007		[大山巖書簡宮島誠一郎宛]	明治31年6月7日	大山巖	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2008		[大山巖書簡宮島誠一郎宛]	明治31年11月30日	大山巖	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2009		[Satow, Ernest書簡宮島誠一郎宛]	明治29年11月26日	Satow, Ernest	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	婿渡英につき扇面へ書を贈る	封筒入り、扇子なし
2010		[宮島誠一郎書簡控Satow, Ernest宛]	明治29年11月26日	宮島誠一郎	Satow, Ernest宛	1枚	墨書	扇面の件謝辞	
2011		[Satow, Ernest書簡宮島誠一郎宛]	明治30年12月29日	Satow, Ernest	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	歳暮に縮緬進呈	封筒入り
2012		[宮島誠一郎書簡控Satow, Ernest宛]	明治30年11月26日、明治31年1月5日	宮島誠一郎	Satow, Ernest宛	1綴	墨書	再渡航祝いに菓子を進呈、年賀進呈	
2013		[Satow, Ernest書簡宮島誠一郎宛]	明治32年1月19日	Satow, Ernest	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	ベレスフォード氏面会の件	封筒入り
2014		[Satow, Ernest書簡宮島誠一郎宛]	明治32年1月19日	Satow, Ernest	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	海軍少将ベレスホード面会の件	封筒入り、宮島書簡を添付
2015		[宮島誠一郎書簡控Satow, Ernest宛]	明治32年1月19日	宮島誠一郎	Satow, Ernest宛	1枚	墨書	海軍少将ベレスホード面会の件	
2016		[封筒 英公使一条]				1枚	墨書		中身なし
2017		[牧野伸顕書簡宮島誠一郎宛]	12月11日	牧野伸顕	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2018		[マクドナルド書簡宮島誠一郎宛]	明治35年6月25日	英国公使マクドナルド	宮島誠一郎宛	1枚	活版	英国皇帝戴冠式祝賀の園遊会延期	葉書
2019		[マクドナルド名刺]	明治39年10月			1枚	墨書	英国公使マクドナルド満期帰朝	封筒入り

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2020		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治14年4月28日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	福岡文部卿との面会、鷹山公写真の礼状	『元田永孚関係文書』所収
2021		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治14年8月6日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	拝借の秘書返上、先々月来頭脳を痛め近日箱根湯治の筈	『元田永孚関係文書』所収
2022		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治15年1月9日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	明日三島招会の儀欠席	『元田永孚関係文書』所収
2023		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治16年)5月17日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	借楽園集会延引の相談	『元田永孚関係文書』所収
2024		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治16年7月9日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	吉井の帰京につき問合せ	『元田永孚関係文書』所収
2025		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治16年11月25日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	吉井一同来話の儀	『元田永孚関係文書』所収
2026		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治17年1月16日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	著書進呈	『元田永孚関係文書』所収
2027		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治17年5月23日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	清公使跋文の件	『元田永孚関係文書』所収
2028		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治17年5月23日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	清国公使跋文への礼状	『元田永孚関係文書』所収
2029		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治17年5月24日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	詩集進呈	『元田永孚関係文書』所収
2030		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治17年5月26日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	谷一条	『元田永孚関係文書』所収
2031		[元田永孚書簡]	(明治17年5月26日)	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	黎庶昌への謝礼について	『元田永孚関係文書』所収、2030の追啓か
2032		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治18年1月31日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	黎庶昌帰国につき詩稿贈呈	『元田永孚関係文書』所収
2033		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治18年5月28日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1通	墨書	『賜杖乃記』・漢詩送り状、伊藤大使清国より帰朝の詩	封筒入り
2034		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治19年3月9日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	玉川堂講義会案内	封筒入り
2035	1	[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治20年)11月8日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	平洲先生書簡の件	2035-1・2は封筒入り、『元田永孚関係文書』所収
2035	2	[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治20年)12月31日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	軸物拝借延長願	『元田永孚関係文書』所収

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2036		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治21年)4月17日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	腫物見舞い状、平洲先生御軸返上、序文未だ脱稿せず、清国伝雲然編纂東瀛詩選に拙著贈呈	「元田翁も五十三歳…」の貼紙はがれて添付
2037	1	[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治21年)4月22日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	清人詩選につき拙稿差出	2037-1・2は紙が接がれている、『元田永孚関係文書』所収
2037	2	[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治21年)4月26日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	宮島病気の件、伝氏の作の賞評	『元田永孚関係文書』所収
2038		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治21年)5月1日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	伝氏選詩一条、浄写送付、昨日内閣大更迭	封筒あり、『元田永孚関係文書』所収
2039		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治21年)5月1日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	伝氏選詩一条、大八書簡感服	『元田永孚関係文書』所収
2040		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治21年5月5日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	伝氏選詩一条、謝礼について	『元田永孚関係文書』所収、「二十一年 勝元田吉井三友之書状」と書いた紙片を添付
2041		元田永孚書翰	明治21年9月18日	元田永孚	沢村大八(第五十一国立銀行)宛	1通	墨書	金借申入れ	「登龍」の箱、紐付き
2042		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	1月15日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	別紙礼状	『元田永孚関係文書』所収
2043		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	5月8日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	鶏卵礼状	『元田永孚関係文書』所収、2044への返書
2044		[宮島誠一郎書簡元田永孚宛]	5月8日	宮島誠一郎	元田永孚宛	1枚	墨書	献上一件御礼、鶏卵呈上	草稿、添削あり
2045		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	6月23日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	昨日内話の続き、来駕ありたし	『元田永孚関係文書』所収、別啓あり
2046		[宮島誠一郎書簡元田永孚宛]	6月23日	宮島誠一郎	元田永孚宛	1枚	墨書	昨日拜話の続き今日拜趨仕りたし	草稿、裏に×印あり
2047		[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	10月4日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	約束の1冊呈上	『元田永孚関係文書』所収
2048	1	[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治14年5月30日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1通	墨書	馬皇后訳伝献上の件	箱に「仁壽樓遺墨詠士宝蔵」の上書き、『元田永孚関係文書』所収
2048	2	[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	明治17年7月2日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1通	墨書	病氣見舞い礼状	漢詩を添付、『元田永孚関係文書』所収

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2049	1	[栗香序文]	明治30年3月	宮島誠一郎		1枚	墨書	三友書簡について	2049-1~6は接いである
2049	2	[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治21年)1月17日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	貴書拙作一巻展観・高評礼状	『元田永孚関係文書』所収
2049	3	[元田永孚書簡宮島誠一郎宛]	(明治21年)1月26日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	詩草稿呈上	『元田永孚関係文書』所収
2049	4	[吉井友実書簡宮島誠一郎宛]	1月30日	吉井友実	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	黎公使との対談国家のため賀す	
2049	5	[吉井友実書簡宮島誠一郎宛]	2月3日	吉井友実	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	黒田との面会の件	
2049	6	[吉井友実書簡宮島誠一郎宛]	2月9日	吉井友実	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	海浜滞在、黒田面会の件	
2050		[元田永孚書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治14年5月30日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし、馬皇后詔伝献上の節、2048-1の封筒か
2051		[元田永孚書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治14年	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし
2052		[元田永孚書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治15年5月8日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし、詩集献上の節
2053		[元田永孚書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治15年6月22日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし
2054		[封筒 元田先生書状 十四年 十七年]				1枚	墨書		中身なし
2055		[封筒 元田東野翁之詩]	明治17年7月			1枚	墨書		中身なし
2056		[封筒 元田先生詩手紙]	明治17年頃			1枚	墨書		中身なし
2057		[元田永孚書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治18年1月31日	元田永孚	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし、黎公使云々、2032の封筒か
2058		[包紙 元田侍講]				1枚	墨書		中身なし
2501		[アーネスト・サトウ書簡宮島誠一郎宛]	明治29年5月16日	アーネスト・サトウ	宮島誠一郎宛	1枚	活版	園遊会招待状	封筒入り
2502		英公使エルンストサトウ扇面字并訳	明治29年11月26日			1冊	墨書		封筒入り
2503		[招待状]	明治31年5月	(英国公使)	宮島誠一郎宛	1枚	活版	英国女王誕辰園遊会招待状	封筒入り
2504		[招待状]	明治32年5月	(英国公使)	宮島誠一郎宛	1枚	活版	英国女王誕辰園遊会招待状	封筒入り、宮島誠一郎名刺、露国公使館付武官ヴァンノフスキー名刺を同封
2505		[招待状]	明治33年5月	(英国公使)	宮島誠一郎宛	1枚	活版	英国女王誕辰園遊会招待状	封筒入り、訳文を同封

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2506		[英国公使書簡宮島誠一郎宛]	6月30日	英国公使	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2507		[英国大使館書簡宮島誠一郎宛]	10月20日	英国大使館	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	『国憲編纂起原』寄贈の礼状	封筒入り
2508		板垣翁之発論		(宮島誠一郎)		1枚	墨書		明治24年3月29日付板垣退助書簡封筒および封筒「家君筆記板垣退助氏快話」を同封、封筒入り
2509		[伊地知正治書簡宮島誠一郎宛]	明治19年2月19日	伊地知正治	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒「伯爵伊地知正治絶筆」入り、「伊地知正治伯絶筆」の封筒入り
2510		[伊藤博文書簡宮島誠一郎宛]	明治33年8月25日	伊藤博文	宮島誠一郎宛	1枚	活版	立憲政友会設立の報知	封筒入り、立憲政友会趣旨書および中央新聞号外を同封、宮島の書込みあり
2511		[岩倉具視書簡宮島誠一郎宛]	明治11年8月16日	岩倉具視	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2512		[岩倉具視書簡宮島誠一郎宛]	(明治12年)8月7日	岩倉具視	宮島誠一郎宛	1綴	墨書		領収書と紙縫で綴り、明治12年8月8日付封筒と折込一括、包紙入り、虫損
2513		[岩倉具視書簡宮島誠一郎宛]	明治14年6月9日	岩倉具視	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り、虫損
2514		[岩倉具視書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治16年	岩倉具視	宮島誠一郎宛	1点	墨書		中身なし、書込みあり
2515		[封筒「岩倉右府書簡四通」]		宮島大八		1点	墨書		2511～2514を保管していたものか
2516		[岩崎小弥太書簡宮島誠一郎宛]	明治40年10月17日	岩崎小弥太	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	弥之助快気の礼状	封筒入り
2517		[岩崎弥之助書簡宮島誠一郎宛]	明治28年8月	岩崎弥之助	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り、書簡3通を貼り接ぎ
2518		窪田梨溪先生詩集刊行ノ件	明治36年10月4日			1枚	墨書	詩集刊行につき宮島へ伺う件	2518・2519は一括して封筒「梨溪先生遺稿之件」入り
2519		[柿崎家保書簡宮島誠一郎宛]	明治36年10月10日	柿崎家保	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	梨溪詩集上木の件	2月17日付宮島・小田切・石丸宛柿崎家保書簡を同封、封筒「梨溪先生遺稿之件」入り
2520		咖喇沁王ノ手翰	明治36年8月15日	咖喇沁王	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り、名刺2枚入り封筒を同封
2521		[川村純義書簡宮島誠一郎宛]	(明治)4月12日	川村純義	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		川村名刺を添付
2522		[金玉均書簡]		金玉均		1枚	墨書		包紙入り

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2523		[窪田梨溪書簡宮島誠一郎他3名宛]	1月21日	窪田梨溪	宮島誠一郎他3名宛	1枚	墨書		2550(p.12)に封入の封筒「明治六年同七年窪田梨溪先師往復書状」に入り
2524		[黒田清隆書簡宮島誠一郎宛]	明治20年10月9日	黒田清隆	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	息子清仲誕生祝への招待	封筒入り
2525		[黒田清隆書簡宮島誠一郎宛]	明治33年6月4日	黒田清隆	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒「黒田伯絶筆」入り、2526と「勝黒田遺言」に同封
2526		黒田伯遺言				1枚	墨書		前欠、黒田意見メモ1枚を同封、封筒「黒田伯遺言」入り、2525と「勝黒田遺言」に同封
2527		[黒田清隆書簡宮島誠一郎宛]	明治33年6月29日	黒田清隆	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2528		[黒田清隆書簡宮島誠一郎宛]	明治33年7月20日	黒田清隆	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	西公使北京密使書面接手云々	封筒入り
2529		[黒田清隆書簡宮島誠一郎宛]	明治33年7月22日	黒田清隆	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り、「対清策」2冊を同封
2530		[黒田清隆書簡宮島誠一郎宛]	11月28日	黒田清隆	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	息子七五三の祝いへの招待	封筒入り
2531		[立花種恭書簡宮島誠一郎宛]	明治27年10月19日	立花種恭	宮島誠一郎宛		墨書		封筒入り
2532		[伊達宗城書簡宮島誠一郎宛]	8月6日	伊達宗城	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2533		[谷鉄臣書簡宮島誠一郎宛]	明治13年12月13日	谷鉄臣	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	悔状	
2534		[谷鉄臣書簡宮島誠一郎宛]		谷鉄臣	宮島誠一郎宛	2枚	墨書		明治9年5月17日付書簡と7月19日付書簡を貼り接いでいる
2535		[千坂高雅書簡宮島誠一郎宛]	2月3日	千坂高雅	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2536		[沈文熒書簡宮島誠一郎宛]		沈文熒	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		古賀茶溪の窪田梨溪肖像賛写しと一綴、封筒「三十六年梨溪詩上木之件」入り
2537		乙号 四通之内 西京詰宮内大臣往復	(明治30年)8月10日	土方久元	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		写し、封筒入り、2537、2538、2543～2545は一括して封筒「慶喜公一条」入り

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2538		丙号 四通之内 徳川家達勝安芳往復	明治30年8月10日	土方久元	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒・書簡貼り接ぎ、封筒は天地切れ、標題の封筒入り、表記の書簡のほかに、11月16日付宮島誠一郎宛勝安芳書簡、11月16日付徳川家達宛宮島誠一郎書簡(写し)、11月17日付宮島誠一郎宛徳川家達書簡、明治31年2月21日溝口勝如内話書取を貼り接いである
2539		[招待状]	明治35年6月28日	クラウド・マクドナルド	宮島誠一郎宛	1枚	活版		封筒入り
2540		[招待状]	明治35年11月8日	クラウド・マクドナルド	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	英国皇帝戴冠式祝賀園遊会招待状	封筒入り
2541		[松平慶永書簡宮島誠一郎宛]	(明治11年)9月12日	松平慶永	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		封筒入り、封筒「松平春岳公書」入り
2542		[三島通庸書簡宮島誠一郎宛]	(明治18年)12月22日	三島通庸	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	警視總監就任祝いへの招待	封筒入り
2543		甲号 四通之内 徳川慶喜公天機伺之一条	明治30年	宮島誠一郎		1枚	墨書		封筒のみ、中身なし、封筒「明治30年より31年二月へ及ぶ徳川慶喜公一件」へ封入の上、さらに2537の封筒「慶喜公一條」入り
2544		[宮島誠一郎書簡土方久元宛]	明治30年8月5日	宮島誠一郎	土方久元宛	1枚	墨書		写し、封筒貼り接ぎ、明治30年11月付公爵徳川家達宛封筒入り、2543の中身が別封筒に入れられたもの、封筒「明治30年より31年二月へ及ぶ徳川慶喜公一件」へ封入の上、さらに2537の封筒「慶喜公一條」入り

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2545		丁号 四通之内 徳川家令溝口勝如	明治31年2月21日	宮島誠一郎		1枚	墨書		封筒「戊二月二十一日溝口勝如来訪」入り、封筒に溝口の名刺をホチキス留めしてある、封筒「明治30年より31年二月へ及び徳川慶喜公一件」へ封入の上、さらに2537の封筒「慶喜公一條」入り
2546		[吉井友実書簡宮島誠一郎宛]	2月14日	吉井友実	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2547		[李経方書簡宮島誠一郎宛]	光緒21年3月16日	李経方	宮島誠一郎宛	4枚	墨書		包紙入りのうえ封筒入り、明治28年3月31日付李伯行宛宮島誠一郎書簡(封筒入り)を同封
2548		[黎庶昌書簡宮島誠一郎宛]	光緒9年8月28日	黎庶昌	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	重陽の節句招待	封筒入り
家族間書簡									
2059		[宮島誠一郎書簡宮島大八宛]	明治20年9月4日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	伊香保入湯、黎氏面会のこと、塩田公使面会、徐公使帰国	
2060		[宮島誠一郎書簡宮島大八宛]	明治21年4月22日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1綴	墨書	誠一郎腫物・眼病、保定行き、蛸殻町火事	
2061		[宮島誠一郎書簡宮島大八宛]	明治21年7月9日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	新公使館に移住、上杉老公御法祭	
2062		[宮島誠一郎書簡宮島大八宛]	明治21年7月30日	宮島誠一郎	宮島大八宛	3枚	墨書	磐梯山噴火、山岡鉄舟死去	
2063		[宮島誠一郎書簡宮島大八宛]	明治21年9月18日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	可二郎祝三学習院寄宿	
2064		[宮島誠一郎書簡宮島大八宛]	明治21年10月2日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	お正病気容態、清公使館員招宴	
2065		[宮島誠一郎書簡宮島大八宛]	明治21年10月9日	宮島誠一郎	宮島大八宛	3枚	墨書	清公使館員招宴、三島警視總監容態	

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2066		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治21年10月22日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	お正容態、張先生父子面会、吉井翁と墨水泊舟見月の詩	
2067		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治21年)11月5日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	南京武昌軼学の段、三島警視總監死去	
2068		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治21年11月16日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1綴	墨書	十一月十五日孫点来訪筆談要抄	黎庶昌朱筆
2069		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治21年11月19日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	瀬川生出發、お正容態、昭宮薨去	
2070		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治22年)3月6日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書		蕭穆・孫点書簡写しと誠一郎の書込
2071		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治22年4月8日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	学資金の件、漢口武昌のこと	
2072		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治22年)6月9日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	三十円送金、荒川巳次天津領事	
2073		[宮島祝蔵書簡 宮島大八宛]	(明治22年)8月10日	宮島祝蔵	宮島大八宛	2枚	墨書	政姉死去の件	
2074		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治22年8月12日	宮島誠一郎	宮島大八宛	5枚	墨書	お正死去の件	
2075		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治22年10月14日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	大島公使・伝雲竜出發	
2076		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治23年2月10日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	張翁より詩の批評、一家經濟逼迫、学資の件	
2077		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)3月10日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1綴	墨書	家計調査、詩出版、岐阜地方海陸大演習	
2078		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治23年3月24日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	内国博覧会花見混雑、近作の詩	
2079		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治23年4月7日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	可二郎・祝三名古屋演習観覧、近作漢詩	
2080		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)4月21日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	黎公使点削の詩について	

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2081		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治23年5月12日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	帰省の件、 気候不順、 天皇皇后無 事還幸	
2082		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治23年6月23日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	芝居の話聖 上御覧に入れたく書 抜き作成	
2083		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)7月7日	宮島誠一郎	宮島大八宛	3枚	墨書	老母逝去の 件	
2084		[宮島可次郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)7月7日	宮島可二郎	宮島大八宛	3枚	墨書	おばんさま 逝去の件	
2085		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)7月14日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	老母長逝、 コレラ流行	
2086		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治23年7月14日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1綴	墨書	亡母への香 奠供物一覧	
2087		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)7月28日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	老母逝去の 件	
2088		[宮島祝三書簡宮 島大八宛]	(明治23年7月カ)	宮島祝三	宮島大八宛	5枚	墨書	老祖母逝去 の件	1枚は断簡
2089		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治23年8月4日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	三十五日 忌、西洋間	
2090		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)9月15日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	清公使奈良 紀州旅行、 伊香保より 密啓の件、 新築落成	西洋間建築図面1 枚添付
2091		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)9月29日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	トルコ軍艦 紀州沖座礁	
2092		[宮島祝三書簡宮 島大八宛]	(明治23年)9月29日	宮島祝三	宮島大八宛	2枚	墨書	トルコ軍艦 紀州沖座礁	
2093		転ハぬ先きの杖	(明治23年9月)	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	荒尾精の上 海行きにつ いて	新聞記事を貼付
2094		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)11月10 日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	西洋風の客 室落成、詩 集送付の件	
2095		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)11月17 日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	大山陸軍大 臣邸臨幸、 誠一郎御前 詩吟、清公 使館にて 宴、南北戦 争の写画	気球上げの図1枚 添付
2096		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治23年12月2日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	帝国議会開 会陪観、黎 使帰国	
2097		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治23年)12月22 日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	黎氏送別	

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2098		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年1月12日	宮島誠一郎	宮島大八宛	3枚	墨書	醇親王薨去、黎庶昌妻死去、家計のこと、インフルエンザ流行	
2099		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年1月26日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	為替手形焼失の件、帝国議会焼失、元田顧問官死去	
2100		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年2月2日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	学資の件、都下気力不発達	
2101		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年2月9日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	保守勤儉の経済論、清国公使交代	
2102		[宮島文三書簡 宮島大八宛]	明治24年2月9日	宮島文三	宮島大八宛	1枚	墨書	挨拶状	
2103		[宮島祝三書簡 宮島大八宛]	(明治24年)2月9日	宮島祝三	宮島大八宛	2枚	墨書	議事堂焼失、元田永孚死去、保安条例	可次郎書簡及び新築西洋館之図を添付
2104		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年2月16日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	詩集送付、新任李公使国書奉呈、黎庶昌公使東京出発	
2105		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年2月23日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	三条内大臣死去	
2106		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治24年2月)	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	送金関係	
2107		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年3月16日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	衰陽行、可二郎祝三試	
2108		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年4月6日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	橋口直右衛門面会、吉井伯容態、各省非職免官あり	
2109		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年4月13日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	漢口筋のこと、黒井悌二新軍艦乗組み横須賀到着	
2110		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治24年)5月11日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	張之洞魯太子応迎の件、吉井元田逝去、勝海舟翁	
2111		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年5月11日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	大津事件	
2112		[宮島祝三書簡 宮島大八宛]	(明治24年5月)24日	宮島祝三	宮島大八宛	3枚	墨書	大津事件	

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2113		[宮島可二郎書簡 宮島大八宛]	(明治24年)5月25日	宮島可二郎	宮島大八宛	1枚	墨書	大津事件	
2114		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年8月23日	宮島誠一郎	宮島大八宛	2枚	墨書	上杉老公の 石碑の件	
2115		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治24年	宮島誠一郎	宮島大八宛	1冊	墨書		9月21・28日・10月 12・19日・11月1・2 日書簡、封筒入り、 大八宛誠一郎書簡 封筒を添付、中身なし
2116		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治25年)4月13日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	黎夫婦祖先 祭、桜花満 開、大八発 帆五年の祝	
2117		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	明治26年1月16日	宮島誠一郎	宮島大八宛	3枚	墨書	長安行のこと、山田伯 死去、伊藤 総理怪我、 千島艦沈没 裁判	封筒付、可二郎・祝 三書簡各1枚を添 付
2118		[宮島誠一郎書簡 宮島大八宛]	(明治26年)10月22日	宮島誠一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	大隈大臣遭 難	
2119		[宮島とく書簡宮島 大八宛]	6月23日	宮島とく	宮島大八宛	1枚	墨書	試験及第の こと	
第三者間書簡									
2549		[中川雪堂書簡梨 溪社盟宛]	明治10年4月1日	中川雪堂	梨溪社盟 宛	1枚	墨書		梨溪宛柿崎家保 書簡と一綴、2550 に封入の封筒「明 治六年同七年窪 田梨溪先生往復 書状」入り
2550		[窪田茂正書簡栗 園宛]	8月24日	窪田茂正	栗園宛	1枚	墨書	送り状	2523(p.6),2549,255 0,2553,2555は一 括して封筒「明治 六年同七年窪田 梨溪先生往復書 状」入り
2551		[窪田梨溪書簡窪 田茂正宛]	2月15日	窪田梨溪	窪田茂正 宛	1枚	墨書		2551、2552は封筒 「十年梨溪臨終之 手紙」に入れら れており、2554と ともに封筒「宮島 家重要書類之一 梨溪先生絶筆」 に入れられ、さら に封筒「窪田梨 溪先生詩稿依頼 之件」に入れら れていた

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2552		[窪田梨溪書簡窪田茂正宛]	2月20日	窪田梨溪	窪田茂正宛	1枚	墨書		2551、2552は封筒「十年梨溪臨終之手紙」に入れられており、2554とともに封筒「宮島家重要書類之一 梨溪先生絶筆」に入れられ、さらに封筒「窪田梨溪先生詩稿依頼之件」に入れられていた
2553		[窪田梨溪書簡公祥宛]	12月18日	窪田梨溪	公祥	1枚	墨書		茂遂は梨溪の実名、2550に封入の封筒「明治六年同七年窪田梨溪先師往復書状」入り
2554		[盛広書簡窪田茂正宛]	3月25日	盛広	窪田茂正宛	1枚	墨書		盛広は「中里従弟実名」とある、2551、2552は封筒「十年梨溪臨終之手紙」に入れられており、2554とともに封筒「宮島家重要書類之一 梨溪先生絶筆」に入れられ、さらに封筒「窪田梨溪先生詩稿依頼之件」に入れられていた
2555		[盛広書簡窪田茂正宛]	3月29日	盛広	窪田茂正宛	1枚	墨書		2550に封入の封筒「明治六年同七年窪田梨溪先師往復書状」入り
書類									
日記									
2120		[日記 嘉永三年庚戌]	嘉永3年3月26日～7月7日	宮島誠一郎		1綴	墨書		13歳のときの日記
2121		[日記 嘉永三年]	嘉永3年8月22日～9月27日	宮島誠一郎		1綴	墨書		13歳のときの日記
2122		栗香漫筆 東海道十九日記	文久3年1月8日～2月10日	宮島誠一郎		1冊	墨書		上洛日記、明治16年7月5日清書
2123		養浩堂私記史料 戊辰之部 甲号	明治1年	宮島誠一郎		1冊	墨書		書簡・布告などの写し、明治20年10月17日了
2124		明治十年日誌	明治10年2月1日～3月1日	宮島誠一郎		1枚	墨書		断簡
2125		己卯 伊香保行	明治12年5月～6月	宮島誠一郎		1冊	墨書		
2126		養浩堂紀略	明治15年	宮島誠一郎		1冊	墨書		明治40年7月27日編集、切抜箇所あり
2127		[日記 明治十六年十二月]	明治16年12月	宮島誠一郎		1冊	墨書		
2128		日記 第壱号	明治21年2月18日～3月31日	宮島執事		1冊	墨書		宮島家執事の日記

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2129		略紀	明治29年～31年	宮島誠一郎		4冊 1綴	墨書		日記、29・30・31年略紀、および30年2月5～10日の「英照皇太后御大喪二付参列西京行 西京往復経費留」
2130		[略紀]	明治35年～38年	宮島誠一郎		1冊	墨書		明治39年編纂
2131		日記 明治十九年九月吉日	明治19年9月5日	宮島熊蔵		1冊	墨書		はじめの数枚のみ記入
2556		養浩堂私記	明治19年10月15日	宮島誠一郎		8冊	墨書		明治5年6月～18年3月、日清事件ほか、清書、秩入り
2557		海舟伯遺言	明治33年5月23日	宮島誠一郎		1冊	墨書		明治32年1月9・11・19日の日記の写し、封筒「吉井伯絶世の談話」入り
2558		養浩堂私抄	天地人	宮島誠一郎		3冊	墨書		
清使交友関係									
2132		何公使筆談	明治11年カ	何如璋・宮島誠一郎	何如璋・誠一郎	1通	墨書	清国公使何如璋との筆談記録	複数の用紙を使用、箱裏面に「球案、癸未、岩公堯井上外務切情」とあるが内容とは無関係
2133		[宮島誠一郎宛書簡封筒]	(明治11年)6月24日	沈文煒	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし
2134		沈梅史文煒送別詩	明治12年	宮島誠一郎		1冊	墨書		
2135		[筆談録 二十二年己卯三月到九月]	明治12年3月～9月	宮島誠一郎		1冊	墨書	黄遵憲ほか清国人士との筆談録	
2136		[筆談録 二十二年己卯九月到十二月]	明治12年9月～12月	宮島誠一郎		1冊	墨書	何如璋ほか清国人士との筆談録	
2137		[筆談録 四十三年庚辰一月到十二月]	明治13年	宮島誠一郎		1冊	墨書	黄遵憲ほか清国人士との筆談録	
2138		養浩堂蕪章	明治14年2月8日	宮島誠一郎		1冊	墨書		黄遵憲刪定
2139		十六年七月 楊文棟 沈鐸 李大林	明治16年7月	宮島誠一郎		8枚	墨書		包紙あり
2140		黎蕪齋筆談 明治十六年癸未	明治16年	黎庶昌・宮島誠一郎		1通	墨書	清国公使黎庶昌との筆談記録	箱裏面に「黎公使再任、戊子二十一年、赤心論球韓二端」とあるが内容とは無関係、信廣友江「宮島家文書・駐日公使等筆談(三)」(『中国学論集』23、1999年)に影印と翻刻を掲載

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2141		黎蒨齋筆談 明治十七年	明治17年	黎庶昌・宮島誠一郎		1通	墨書	清国公使黎庶昌との筆談記録	箱裏面に「朝鮮変乱、甲申、黎公使喪歸」とあり、信廣友江「宮島家文書・駐日公使等筆談(四)」(『中国学論集』24、1999年)に影印と翻刻を掲載
2142		清使筆談 一号	明治39年10月5日 観	宮島誠一郎		1冊	墨書	明治17年～18年2月1日、養浩堂私記	宮島大八正削、写し、松平春岳の養浩堂詩集序を挟み込み
2143		清使筆談 三号	明治39年10月5日	宮島誠一郎		1冊	墨書	明治19年1月～20年5	明治29年9月22日 写し
2144		清使筆談及書翰 往復 四号	明治39年10月5日	宮島誠一郎		1冊	墨書	明治21年～22年	写し、明治27・28年のメモあり、陳明遠書簡を挟み込み
2145		清使筆談及書翰 往復 五号	明治39年10月5日	宮島誠一郎		1冊	墨書	明治23年～25年	写し
2146		清友筆談 三				1冊	墨書	清国公使等との対話録	己卯之部、頁の追加あり
2147		清友筆談 四				1冊	墨書	清国公使等との対話録	庚辰・己卯之部
2148		清友筆談 五				1冊	墨書	清国公使等との対話録	
2149		[黎庶昌筆談録]	明治29年8月2日 鈔出	宮島誠一郎		1冊	墨書	明治21年1月5日筆談	
2150		[黎庶昌筆談録写し]		宮島誠一郎		1冊	墨書	明治22年11月28日に黎公使を訪問	
2151		孫君異筆語	明治21年5月27日	宮島誠一郎		1冊	墨書		
2152		清国游歴官傳雲龍筆談		宮島誠一郎		1冊	墨書	明治21年～22年	添削あり
2153		目録	明治25年5月20日	宮島誠一郎	李経方宛	1枚	墨書	祝儀御礼に鯉節と赤飯を進呈	
2154		沈文熒筆談		宮島誠一郎		1冊	墨書		
2155		筆談		宮島誠一郎		1冊	墨書		
2156	1	黄吟梅来訪	明治17年		誠一郎	1枚	墨書		2156を包んでいた紙
2156	2	[筆談録]	明治17年		誠一郎	1綴	墨書	黄超会との筆談録	黄超会は大清出使游歴随員
2156	3	[黄超会書簡宮島誠一郎宛]	(明治17年)上巳	黄超会	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2156	4	東瀛游草徴東京諸名家題辞啓		黄超会	誠一郎	1枚	活版		
2156	5	[黄超会書簡宮島誠一郎宛]		黄超会	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2156	6	[黄超会書簡宮島誠一郎宛]	明治17年5月15日	黄超会	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	招待状	
2156	7	[黄超会書簡宮島誠一郎宛]	21日	黄超会	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2156	8	[筆談録]	明治17年		誠一郎	1綴	墨書	黄超会との筆談録、2月・閏5月	
2156	9	[筆談録]	(明治17年)		誠一郎	10枚	墨書	黄超会との筆談録	
2157		[李経方書簡宮島誠一郎宛]	(明治24年)1月8日	李経方	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		1月27日付封筒入り
2158		[李経方書簡宮島誠一郎宛]	(明治24年)1月27日	李経方	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	午餐招待状	2月6日付封筒入り
2159		[劉慶汾書簡宮島誠一郎宛]		劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2160		[劉慶汾書簡宮島誠一郎宛]	2月14日	劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2161		[劉慶汾書簡封筒宮島誠一郎宛]		劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし
2162		[劉慶汾書簡封筒宮島誠一郎宛]		劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし
2163		[劉慶汾書簡封筒宮島誠一郎宛]	8月11日	劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし
2164		[劉慶汾書簡封筒宮島誠一郎宛]	8月9日	劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし
2165		[劉慶汾書簡宮島誠一郎宛]	明治25年	劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	面会について用向きを問う	封筒入り、宮島の面会願いを同封
2166		[劉慶汾書簡封筒宮島誠一郎宛]		劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		中身なし
2167		[劉慶汾書簡宮島誠一郎宛]	5月19日	劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2168		[劉慶汾書簡宮島誠一郎宛]	7月14日	劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2169		[宮島誠一郎書簡鄭孝胥宛]	明治25年1月23日	宮島誠一郎	鄭孝胥宛	2枚	墨書		
2170		[劉慶汾書簡宮島誠一郎宛]		劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2171		[劉慶汾書簡宮島誠一郎宛]	7月4日	劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2172		[劉慶汾書簡宮島誠一郎宛]	7月7日	劉慶汾	宮島誠一郎宛	1枚	墨書		
2173		上杉曦山碑銘		李経方		1枚	墨書		
2174		従三位上杉暉山公碑銘	明治29年8月17日	宮島誠一郎		1冊	墨書		
2559		[筆談録]			宮島誠一郎	8枚	墨書		
2560		[筆談録]			宮島誠一郎	2枚	墨書		
2561		[筆談録]			宮島誠一郎	4枚	墨書		
2562		[筆談録]			宮島誠一郎	1枚	墨書		前欠
2563		[筆談録]			宮島誠一郎	9枚	墨書		

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2564		[封筒 明治十三年黄遵憲筆談 売茶亭酒席]	明治40年7月28日		宮島誠一郎	1枚	墨書		2565～2567の筆談録3巻を保管
2565		[筆談録]	明治13年9月28日		宮島誠一郎	6枚	墨書	吾以今二十八日...	2564に同封
2566		[筆談録]			宮島誠一郎	8枚	墨書	葦氣甚好...	2564に同封
2567		[筆談録]			宮島誠一郎	2枚	墨書	所曾寓野崎生...	2564に同封
その他									
2175		[木滑要人証文]	文久2年閏8月	木滑要人	酒井肥前守・加藤伯耆守・戸川播磨守・松平出雲守宛	1枚	墨書	小女通行につき御手判発行願ひ	
2176		上洛紀略	文久3年8月13日～9月23日	宮島誠一郎		1冊	墨書	会津藩との交際の機密などを書き留めたもの	
2177		熊蔵 二十七歳 甲子 二十八歳 乙丑	元治1年・慶応1年	宮島誠一郎		1冊	墨書		風説留、裏表紙に誠一郎の書付あり
2178		戊辰雑集	慶応4年			1冊	墨書		成章堂叢書巻之十六、風説留
2179		詩集刊行諸費考	明治10年～15年	宮島誠一郎		1冊	墨書		養浩堂後篇彫刻料1綴を添付
2180		十七年三月十六日元田話	明治17年3月16日	宮島誠一郎		1枚	墨書	元田永孚談話筆記、宮中改革、山岡宮内卿拝命の噂、口演書の件	
2181		生存交游簿 卷ノ壹	明治27年1月8日査	宮島誠一郎		1冊	墨書		明治12年製、17年改、24年5月正
2182		過去仙客交游簿 卷ノ三	明治27年1月8日査	宮島誠一郎		1冊	墨書		明治12年
2183		生存交游簿 卷之貳	明治27年1月8日査	宮島誠一郎		1冊	墨書		明治14年7月製、24年5月正
2184		山陽書翰写	明治29年6月6日	宮島誠一郎		1冊	墨書	頼山陽書簡の筆写	標題の書は誠一郎の絶筆
2185		[黒塗長文箱ほか内容調]	明治29年8月26日			1綴	墨書		
2186		詩集并石摺配付ヶ処 丑号	明治15年～29年	宮島誠一郎		1冊	墨書		養浩堂書類蔵品リストあり
2187		[領収書]	明治30年12月30日	筆や新吉	宮島誠一郎宛	1枚	墨書	千代紙代	
2188		[領収書]	明治30年11月26日、明治31年1月5日	英国公使館		1綴	墨書	書簡菓子箱等受取	
2189		御見舞人名簿	明治43年4月	宮島		1冊	墨書	誠一郎の病氣見舞い	東京慈恵会医院よりの看護婦派遣料請求書添付
2190		[宮島吉利履歴書]				1綴	墨書		安政6年まで
2568		[白紙・白封筒]				2点			中身なし
2569		[万石浦地図]				1枚	墨書		

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2570		甲申日録略抄		金玉均		1冊	墨書		川上操六の宮島誠一郎宛包紙(明治27年)入り、元田永孚の題字あり
2571		[栗香子詩賛]		金玉均		1枚	墨書		
漢詩文									
2191		[癸丑甲寅詩稿一綴]	嘉永6年～安政1年	宮島誠一郎		1冊	墨書	漢詩草稿、「嘉永癸丑六 年詩稿」「栗香詩稿」「甲寅草稿」「甲寅詩稿」	甲乙丙5冊を綴る、山田蟻堂・窪田梨溪先生筆削、明治30年1月18日の跋文あり、明治38年6月25日観之
2192		[詩稿 曾我兄弟斫宮詞ほか]		宮島誠一郎		1綴	墨書		
2193		[詩稿 書懷ほか]		宮島誠一郎		1綴	墨書		
2194		[詩稿 野廟避雨ほか]	安政2年晩夏	宮島誠一郎		5枚	墨書		
2195		安政二乙卯稿 卷之一	安政2年	宮島誠一郎		1冊	墨書		山田蟻堂・窪田梨溪先生点評
2196		七言絶十首	安政2年	宮島誠一郎		1冊	墨書		山田蟻堂・窪田梨溪先生点評
2197		江戸雑咏	安政5年～6年	小森澤猪吉		1冊	墨書		誠一郎批評あり
2198		双生泉詩稿	文久1年			1冊	墨書		
2199		乙丑詩稿 十五首	慶応1年	宮島誠一郎		1冊	墨書		
2200		[詩稿]	明治5年～21年	宮島誠一郎		1冊	墨書		
2201		日記 明治十三庚辰年十二月ヨリ	明治13年	宮島誠一郎		1冊	墨書	古今名詩集	
2202		養浩堂詩稿	(明治16年)	宮島誠一郎		1冊	墨書		添削多し
2203		江亭記	明治22年3月			1冊	墨書	江戸城に関する詩文、正宗龍統による「寄題江戸城静勝軒詩序」(文明8年)ほか	黎庶昌跋文あり
2204		古壁存文	明治30年4月4日	宮島誠一郎		1冊	墨書		書込み多し
2205		相豆小游詩草	明治36年3月	宮島誠一郎		1冊	墨書	湯河原温泉雑咏	
2206		[漢詩 酒可飲千杯…]	明治36年3月	宮島誠一郎		1枚	墨書	湯河原温泉雑咏	
2207		癸卯三月 湯河原温泉客舎雑咏 其一	明治36年3月	宮島誠一郎		1枚	墨書		

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2208		[養浩堂詩文草稿一綴]		宮島誠一郎		1綴	墨書		上毛探勝(明治9年)、臘冬初十夕会稿六首、中秋前一夕暢懷樓集分韻、嵐山十二首(明治39年)、養浩堂安政乙卯詩、養浩堂詩稿、ほか
2209		[渡辺武・宮島誠一郎漢詩一綴]		渡辺武・宮島誠一郎		1綴	墨書	「遊函山有詩寄栗香先輩」ほか	
2210		両当軒詩抜鈔	10月6日・7日写			1冊	墨書		
2211		杜詩				1冊	墨書		

2. 宮島大八関係

書簡

宮島大八書簡

2212		[宮島大八書簡岩崎久弥宛]	(大正3年)10月12日	宮島大八	岩崎久弥宛	1枚	墨書	善隣書院の件につき面会依頼	控、10月10日付宮島大八宛白岩龍平(子雲)書簡(封筒付)添付
2213		[宮島大八書簡草稿江口定条宛]	5月14日	宮島大八	江口定条宛	2枚	墨書	面会依頼	下書き、封筒あり、下書き2通を添付
2214		[宮島大八書簡草稿金子宛]		宮島大八	金子宛	1通	墨書		下書き、添削多し
2215		[宮島大八書簡川島浪速宛]		宮島大八	川島浪速宛	1冊	墨書	清国時局、袁世凱、革命党、大陸経営の大任	控、風外は川島浪速の号
2216		[宮島大八書簡柴五郎宛]	11月20日	宮島大八	柴五郎宛	1枚	墨書		封筒入り
2217		[宮島大八書簡船津宛]	1月20日	宮島大八	船津宛	1通	墨書	一水会、新団体の組織による国論喚起、宣統保護は我国策として必要	船津辰一郎宛か
2218		[宮島大八書簡誠一郎宛]	明治28年5月14日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1冊	墨書	日清講和条約について	「大八西京大本營え寄贈之書翰」
2219		[書簡草稿]	5月13日	宮島大八	中島	1枚	墨書	大作負債の件	
2220		[書簡草稿]				1枚	墨書		
2221		[書簡草稿]				2枚	墨書	中国稚士相提携…	添削多し
2222		[書簡草稿]				2枚	墨書	辰二氏遺骨の件	
2223		[書簡草稿]				1枚	墨書	会合日程について	
2572		[結婚披露宴招待状下書き]		宮島大八	上泉徳弥宛	1枚	墨書		
2573		[宮島大八書簡関菊麿宛]	(大正)12年12月28日	宮島大八	関菊麿宛	1枚	墨書		封筒入り
2574		家督相続届	明治44年4月	宮島大八	二村忠誠宛	1枚	墨書		控えか、二村は戸籍吏
2575		[宮島大八書簡牧野伸顕宛]	大正7年12月9日	宮島大八	牧野伸顕宛	1枚	墨書		

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2576		大八手書自保定来者	明治20年6月3日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1冊	墨書		状の端を貼り合せて冊子にしたもの、封筒入り
2577		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年5月17日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2578		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年6月22日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		虫損、中身なし
2579		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年7月13日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2580		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年8月10日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2581		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年8月18日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2582		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年8月31日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2583		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年9月21日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		虫損、中身なし
2584		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年9月28日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2585		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年10月5日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		虫損、中身なし
2586		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年10月19日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2587		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年11月9日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		虫損、中身なし
2588		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治21年12月4日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		虫損、中身なし
2589		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治22年3月6日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2590		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治22年4月	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2591		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治22年4月	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		中身なし
2592		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治22年5月18日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2593		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治22年6月8日	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		中身なし
2594		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]	明治22年6月	宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2595		[宮島大八書簡封筒宮島誠一郎宛]		宮島大八	宮島誠一郎宛	1点	墨書		破損、中身なし
2596		[宮島大八書簡草稿松尾重信宛]	2月5日	宮島大八		5枚	ペン		
宮島大八宛書簡									
2224		[有島生馬書簡宮島大八宛]	6月9日	有島生馬	宮島大八宛	1枚	墨書		
2225		[今村貞治書簡宮島大八宛]	大正14年9月10日	今村貞治	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2226		[今村貞治書簡宮島大八宛]	(昭和)7年8月1日	今村貞治	宮島大八宛	5枚	墨書		封筒入り
2227		[今村貞治書簡宮島大八宛]	(昭和)8月27日	今村貞治	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2228		[今村貞治書簡宮島大八宛]	4月22日	今村貞治	宮島大八宛	1枚	墨書	西郷隆盛の最期について	封筒入り、今村は宮島大八の門弟
2229		[今村貞治書簡宮島大八宛]	6月29日	今村貞治	宮島大八宛	14枚	墨書		封筒入り、封筒上部なし
2230		[于静遠書簡断簡]	3月8日	于静遠		2枚	墨書	「詠翁老伯大人…」	漢文

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2231		[衛藤利夫書簡宮島大八宛]	(大正)9年7月8日	衛藤利夫	宮島大八宛	4枚	墨書		封筒入り
2232		[遠藤文雄書簡宮島大八宛]	5年10月31日	遠藤文雄	宮島大八宛	3枚	ペン		封筒入り
2233		[遠藤文雄電報宮島大八宛]	6年1月24日	遠藤文雄	宮島大八宛	1枚	ペン		
2234		[遠藤文雄書簡宮島大八宛]	10月6日	遠藤文雄	宮島大八宛	3枚	墨書		封筒入り
2235		[緒方竹虎書簡宮島大八宛]	(昭和11年)5月3日	緒方竹虎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2236		[緒方竹虎書簡宮島大八宛]	昭和16年6月9日	緒方竹虎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2237		[加藤寛治書簡宮島大八宛]	昭和5年6月6日	加藤寛治	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2238		[樺山資紀書簡宮島大八宛]	(大正)7年1月21日	樺山資紀	宮島大八宛	1枚	墨書	漢詩添削依頼	封筒入り、漢詩を添付
2239		喀喇沁王之詩	明治36年4月27日	喀喇沁王	宮島誠一郎宛	2枚	墨書		封筒入り、喀喇沁地図を添付
2240		[河相達夫書簡宮島大八宛]	昭和8年9月21日	河相達夫	宮島大八宛	1枚	ペン		葉書
2241		[川島浪速書簡宮島大八宛]	大正6年11月	川島浪速	宮島大八宛	1枚	墨書	結婚式招待状	葉書
2242		[川島浪速書簡宮島大八宛]	昭和6年11月12日	川島浪速	宮島大八宛	1枚	活版	転居通知	葉書
2243		[工藤鐵三郎書簡宮島大八宛]	大正1年10月31日	工藤鐵三郎	宮島大八宛	2枚	ペン		封筒入り
2244		[工藤鐵三郎書簡善隣書院宛]	大正9年6月1日	工藤鐵三郎	善隣書院宛	1枚	ペン		封筒入り
2245		[工藤鐵三郎書簡善隣書院宛]	大正10年6月20日	工藤鐵三郎	善隣書院宛	2枚	ペン		封筒入り
2246		[工藤鐵三郎書簡宮島大八宛]	大正12年9月23日	工藤鐵三郎	宮島大八宛	1枚	ペン		封筒入り
2247		[工藤鐵三郎書簡]	大同1年7月10日	工藤鐵三郎		1枚	活版	満州国建国挨拶状	葉書
2248		[黄遵楷書簡宮島大八宛]	明治44年夏	黄遵楷	宮島大八宛	2枚	墨書		封筒入り
2249		[黄遵楷書簡宮島大八宛]		黄遵楷	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2250		[後藤新平書簡善隣書院宛]	大正10年4月	後藤新平	善隣書院宛	1枚	謄写	満蒙文化協会入会の勧誘	返信用葉書入り
2251		[小村欣一書簡宮島大八宛]	(大正)7年11月27日	小村欣一	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2252		[小村欣一書簡宮島大八宛]	(大正)8年5月3日	小村欣一	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2253		[小村欣一書簡宮島大八宛]	(大正)8年9月19日	小村欣一	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2254		[松雲程書簡宮島大八宛]	3月7日	松雲程	宮島大八宛	2枚	墨書		
2255		[鈴木梅四郎書簡]	昭和7年2月	鈴木梅四郎	宮島大八宛	1枚	活版	選挙落選の挨拶状	
2256		[大民倶楽部・護国義勇団書簡]	昭和8年2月20日	大民倶楽部・護国義勇団	宮島大八宛	1枚	活版	国際連盟関係につき国民大会開催通知	封筒「時局問題」を添付
2257		[立花種恭書簡宮島大八宛]	明治28年4月23日	立花種恭	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2258		[立花種恭書簡宮島大八宛]	10月25日	立花種恭	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り、1月21日付書簡を同封

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2259		[立花種恭書簡宮島大八宛]	11月28日	立花種恭	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2260		[近松孝憲書簡宮島大八宛]	(大正)5年9月9日	近松孝憲	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2261		[近松孝憲書簡宮島大八宛]	6月3日	近松孝憲	宮島大八宛	1枚	墨書	山東革命	
2262		[張滋防書簡]		張滋防	宮島大八宛	1枚	墨書	蜜柑と野鶯の礼状	
2263		[趙伸書簡宮島大八宛]	8年9月23日	趙伸	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2264		[姪漳書簡宮島大八宛]		姪漳	宮島大八宛	1枚	墨書		
2265		寄呈兩日的日記以博一笑	2月19日	姪漳		3枚	墨書		
2266		[寺西秀武書簡宮島大八宛]	10月2日	寺西秀武	宮島大八宛	1枚	墨書	日本經濟・滿州国の政治は自由を望む	
2267		[寺西秀武書簡宮島大八宛]	11月20日	寺西秀武	宮島大八宛	1枚	墨書		
2268		[東洋文化学会書簡宮島大八宛]	昭和11年10月	東洋文化学会	宮島大八宛	2枚	活版	平沼騏一郎古稀祝賀について	封筒入り、寄付金払込票を添付
2269		[床次竹二郎書簡宮島大八宛]	大正9年5月27日	床次竹二郎	宮島大八宛	1枚	活版	招待状	封筒入り
2270		[董澤書簡床次竹二郎宛]	4月20日	董澤	床次竹二郎宛	1枚	墨書		封筒入り、宮島転達
2271		寄床次内相	(大正)	宮島大八		2枚	墨書		下書きか
2272		[羽田次郎書簡宮島大八宛]	昭和7年9月23日	羽田次郎(檜駆逐艦長海軍大尉)	宮島大八宛	1枚	活版	檜駆逐艦長に補せられた旨通知	
2273		[浜口雄幸書簡宮島大八宛]	(大正6年)9月21日	浜口雄幸	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2274		[速水一孔書簡宮島大八宛]	3月17日	速水一孔	宮島大八宛	1枚	墨書		
2275		[平沼騏一郎書簡宮島大八宛]	(大正)8年5月8日	平沼騏一郎	宮島大八宛	1枚	墨書	大作氏追悼会欠席	封筒入り
2276		[牧野伸顕書簡宮島大八宛]	(大正)7年10月10日	牧野伸顕	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2277		[牧野伸顕書簡宮島大八宛]	1月1日	牧野伸顕	宮島大八宛	1枚	墨書	年賀状	葉書
2278		[牧野伸顕書簡宮島大八宛]	8月25日	牧野伸顕	宮島大八宛	1枚	墨書		
2279		[宗方小太郎書簡宮島大八宛]	4月28日	宗方小太郎	宮島大八宛	1枚	墨書		升允宛姚文藻書簡写(旧3月24日)等2綴添付
2280		[山本五十六書簡宮島大八宛]	11月17日	山本五十六	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2281		[吉田茂書簡宮島大八宛]	昭和5年1月31日	吉田茂	宮島大八宛	1枚	活版	晚餐会招待状	
2282		[吉田茂書簡宮島大八宛]	10月31日	吉田茂	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2283		[米内光政書簡宮島大八宛]	(大正)6年3月6日	米内光政	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2284		[電報断簡]	5年9月4日			2枚	ペン		3・4枚目
2597		[荒木貞夫書簡宮島大八宛]	昭和5年6月21日	荒木貞夫	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2598		[伊地知一清書簡宮島大八宛]	昭和11年4月27日	伊地知一清	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2599		[伊地知一清書簡宮島大八宛]	昭和12年1月1日	伊地知一清	宮島大八宛	1枚	墨書		年賀状
2600		[今村貞治書簡善隣書院先生各位宛]	大正5年5月16日	今村貞治	善隣書院先生各位宛	1枚	墨書		封筒入り
2601		[今村貞治書簡宮島大八宛]	昭和9年1月9日	今村貞治	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2602		[今村貞治書簡宮島大八宛]	昭和9年3月24日	今村貞治	宮島大八宛	5枚	墨書		封筒入り
2603		[今村貞治書簡宮島大八宛]	昭和17年元旦	今村貞治	宮島大八宛	4枚	墨書		封筒入り
2604		[今村貞治書簡封筒宮島大八宛]	康德	今村貞治	宮島大八宛	1点	墨書		中身なし
2605		[今村貞治書簡宮島大八宛]	4月1日	今村貞治	宮島大八宛	1枚	墨書		
2606		[岩崎久弥書簡宮島大八宛]	大正12年9月27日	岩崎久弥	宮島大八宛	1枚	タイプ		封筒入り
2607		[岩崎久弥書簡宮島大八宛]	昭和10年10月31日	岩崎久弥	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2608		[衛藤利夫書簡宮島大八宛]	(昭和)6年4月13日	衛藤利夫	宮島大八宛	4枚	ペン		封筒入り
2609		[豪徳寺梶川乾堂書簡封筒宮島大八宛]	(大正)9年3月16日	梶川乾堂	宮島大八宛	1点	墨書		
2610		[豪徳寺梶川乾堂書簡封筒宮島大八宛]	(大正12年)4月17日	梶川乾堂	宮島大八宛	1点	墨書		中身なし
2611		[加藤寛治書簡コピー宮島大八宛]	昭和5年6月6日	加藤寛治	宮島大八宛	3枚	墨書、コピー、ホチキス留め		
2612		[加藤寛治書簡宮島大八宛]	昭和6年2月7日	加藤寛治	宮島大八宛	2枚	墨書		封筒入り、2613を同封
2613		[加藤寛治書簡宮島大八宛]	4月19日	加藤寛治	宮島大八宛	1枚	墨書		
2614		[樺山資紀書簡宮島大八宛]	大正3年12月4日	樺山資紀	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2615		[上泉徳弥書簡封筒宮島大八宛]	(大正)8年3月27日	上泉徳弥	宮島大八宛	1点	墨書		中身なし
2616		[上泉徳弥書簡宮島大八宛]	(大正12年)5月31日	上泉徳弥	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2617		[工藤鉄三郎書簡宮島大八宛]	大正9年5月24日	工藤鉄三郎	宮島大八宛	5枚	謄写(ペン)		封筒入り
2618		[工藤鉄三郎書簡封筒宮島大八宛]	大正9年7月12日	工藤鉄三郎	宮島大八宛	1点	墨書		中身なし
2619		[工藤鉄三郎書簡宮島大八宛]	昭和8年12月11日	工藤鉄三郎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2620		[工藤鉄三郎書簡宮島大八宛]	大同3年2月10日	工藤鉄三郎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2621		[工藤鉄三郎書簡宮島大八宛]	3月21日	工藤鉄三郎	宮島大八宛	3枚	墨書		封筒入り、別紙29枚
2622		[憲真書簡宮島大八宛]	(大正)12年12月30日	憲真	宮島大八宛	1枚	墨書		喪中葉書

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2623		[小越与平治書簡宮島大八宛]	(昭和)16年12月18日	小越与平治	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2624		[近衛文麿書簡宮島大八宛]	昭和8年12月	近衛文麿	宮島大八宛	1枚	活版		封筒入り、破損
2625		[税所篤三書簡宮島大八宛]	(昭和)16年1月15日	税所篤三	宮島大八宛	2枚	墨書		封筒入り
2626		[税所篤三書簡宮島大八宛]	4月10日	税所篤三	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り、別紙あり
2627		[斎藤源内書簡宮島大八宛]	2月20日	斎藤源内	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2628		[柴五郎書簡宮島大八宛]	3年7月17日	柴五郎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒あり、破損甚
2629		[柴五郎書簡宮島大八宛]	(昭和)11年1月31日	柴五郎	宮島大八宛	1枚	墨書		
2630		[柴五郎書簡宮島大八宛]	(昭和)11年8月25日	柴五郎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2631		[柴五郎書簡宮島大八宛]	(昭和)12年4月27日	柴五郎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2632		[柴五郎書簡宮島大八宛]	昭和15年12月8日	柴五郎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2633		[柴五郎書簡宮島大八宛]	(昭和)16年2月10日	柴五郎	宮島大八宛	1枚	墨書		
2634		[升允書簡宮島大八宛]		升允	宮島大八宛	2枚	墨書		封筒入り
2635		[鈴木梅太郎書簡宮島大八宛]	大正2年8月2日	鈴木梅太郎	宮島大八・瀬川・川島浪速	1枚	墨書		
2636		[信光寺書簡宮島大八宛]	昭和17年9月	信光寺	宮島大八宛	2枚	活版		封筒入り
2637		[東亜同文会書簡宮島大八宛]	昭和4年6月28日	東亜同文会	宮島大八宛	1枚	謄写(ペン)		往復葉書、墨書書込みあり
2638		[徳川慶久書簡宮島大八宛]	(大正)5年8月2日	徳川慶久	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2639		[徳川慶久書簡封筒宮島大八宛]	(大正)6年2月1日	徳川慶久	宮島大八宛	1枚	墨書		中身なし
2640		[徳川慶久書簡宮島大八宛]	(大正)5年5月20日	徳川慶久	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2641		[中島鍊書簡宮島大八宛]	大正10年1月1日	中島鍊	宮島大八宛	1枚	墨書		年賀葉書
2642		[中村研一書簡宮島誠一郎宛]	昭和13年12月3日	中村研一	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2643		[中村研一書簡宮島誠一郎宛]	2日	中村研一	宮島大八宛	4枚	ペン		
2644		[細川護立書簡宮島大八宛]	昭和6年2月6日	細川護立	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2645		[細川護立名刺]	(大正)12年2月11日	細川護立	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2646		[細川護立書簡宮島大八宛]	6月7日	細川護立	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2647		[松平康国書簡宮島大八宛]	(昭和)3月22日	松平康国	宮島大八宛	1枚	ペン		封筒入り
2648		[松平康国書簡宮島大八宛]	(昭和)5年7月9日	松平康国	宮島大八宛	1枚	活版		転居報知葉書
2649		[南次郎書簡宮島大八宛]	9年9月25日	南次郎	宮島大八宛	1枚	墨書		封筒入り
2650		[本告書簡宮島大八宛]	11月21日	本告	宮島大八宛	2枚	墨書		紙帯でとめてあり、紙片を一括

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2651		[書簡断簡]				3枚	墨書		前欠
第三者間書簡									
2285		[花田筑紫書簡柴田宛]	4月6日	花田筑紫	柴田	2枚	謄写		
2286		[恭親王溥偉書簡川島浪速宛]	2月	恭親王溥偉	川島浪速宛	2枚	墨書		封筒入り
2287		[西田税書簡山下源太郎夫人宛書]	7月13日	西田税	山下源太郎夫人宛	1枚	墨書		封筒入り
2652		[戴桂芬書簡吉甫宛]		戴桂芬	吉甫宛	4枚	墨書		封筒入り
2653		[工藤鉄三郎書簡斎藤源内宛]	昭和11年8月3日	工藤鉄三郎	斎藤源内宛	5枚	墨書		封筒入り
2654		[工藤鉄三郎書簡斎藤源内宛]	8月11日	工藤鉄三郎	斎藤源内宛	4枚	墨書		封筒入り
2655		[富谷兵次郎書簡小越平隆宛]	昭和7年8月8日	富谷兵次郎	小越平隆宛	1枚	墨書		封筒入り
書類									
日記									
2288		開戦報以来日表	明治27年7月29日 ~10月13日	宮島大八		1綴	墨書		宮島大八日記、朱書入れあり
2289		日乗 修行録	明治28年5月1日			1冊	墨書		詠帰詩草を含む、詩草稿、途中以後書かれていない
陸軍関係									
2290		[陸軍省組織図]				5枚	墨書		
2291		[陸軍省各部局職制・条例案]				2綴	墨書		漢文、添削多し
2292		[参謀本部条例]				1綴	墨書		漢文
2293		[陸軍省官制草稿]				1綴	墨書		漢文、添削多し
2294		陸軍士官学校生徒戒条				1冊	墨書		漢文、添削多し
2295		陸軍士官学校生徒戒条				1冊	墨書		漢文、添削多し
2296		士官学校内務細則目次				1冊	墨書		漢文、添削多し
2297		[歩兵・騎兵・野戦砲兵等について]				1綴	墨書		漢文、添削多し
2298		独逸基本戦術前				1綴	墨書		漢文、添削多し
2299		[戦術学之区分・關於隊形兵語義解、ほか戦術学草稿]				1綴	墨書		漢文、添削多し
2300		[騎兵規則]				1冊	墨書		漢文、添削多し
中国情勢									
2301		[川島浪速電報写し]	明治44年11月11日	川島浪速 (在清国 国民政部 顧問二品 衝)		5部	謄写	清廷の扶助と満洲・東蒙古の日本による占有を主張	
2302		[中国情勢覚書]	明治45年カ			1枚	墨書	奉天將軍趙爾巽の動向ほか	
2303		報告	(大正)7月9日	川島浪速	宮島大八宛	5枚 3部	謄写	中国情勢	封筒入り、「秘」
2304		報告(12月13日)	大正1年12月13日	川島浪速	宮島大八宛	3枚	謄写	中国情勢	封筒入り、「秘」

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2305		北京最近情報	大正4年7月12日	山平(旅順)		1綴	謄写(ペン)	西川参謀長が山県副官を従えて青島・天津・北京を遊歴した話	伊藤五郎「雲南将校日語研究状況」(善隣書院)を添付
2306		報告	大正6年4月2日	国民外交同盟会		1冊	謄写	露国の北満経営、張対馮湯問題、支那人と滿蒙問題、ほか	「極秘」
2307		報告	大正6年5月15日	国民外交同盟会		1冊	謄写	北京政府の対東蒙設治、ほか	「極秘」
2308		雲南真情	大正7年6月18日	大作理三郎		1冊	謄写		「秘」、宮島大八の後書あり
2309		雲南革命ノ終始				1冊	墨書		
2310		董氏ノ日本ニ於ケル感想				6枚	墨書	董澤の日本に於ける感想	宮島大八への言及あり
2311		三河屋ニ於ケル董氏招飲ノ概況	大正6年1月	大作理三郎		10枚	墨書	21日に大八の発企にて東亜同文書院を中心主催した董澤雲南督軍府秘書官の招宴について	後欠
2312		雲南ノ近年情況	大正7年11月28日	善隣書院		5枚	謄写		
2313		上海不敬事件の真相	大正8年6月21日	国民外交同盟会		8枚	謄写		「極秘」、赤い紙紐にてまとめてあり
2314		支那留学生状況調査書	大正8年6月30日	東亜同文会		1冊	謄写		
2315		報告	(大正)			3枚	謄写	袁大總統より張都督宛來電、ほか	「秘」
2316		報告	(大正)1月29日			3枚	謄写	袁大總統より張都督宛來電、ほか	2315の別版
2317		[中国政治情勢について報告断簡]	(大正)			1枚	墨書	袁世凱の立場、「日々印刷シテ…」	
2318		[対支政策について]	(大正)			3枚	墨書	排袁政策、南北の二分、ほか	日清汽船株式会社の罫紙
2319		支那ノ形勢 第九号	(大正)10月10日			3枚	謄写	十三省連合会に関する段祺瑞と張勳との往復電文	

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2320		中島比多吉南方視察談	昭和2年2月末			1冊	墨書	国民政府、孫の三民主義、露国の援助、ほか	添削多し、中国国民党組織関係資料を添付
2321		我海軍ニ於ケル対米対露支方針確立ニ関スル所見	昭和6年2月11日	八角三郎		6枚	謄写(ペン)		「極秘」
2322		銃殺力焼殺力、死ニ直面シテ!!三寸ノ舌頭四頭目ヲ帰順サス、成沢参事官ノ知略ト放胆	昭和8年1月5日			6枚	墨書		『遼鞍毎日新聞』記事の筆写
2323		長春通信	昭和8年2月2日			1枚	謄写	満洲における民政の欠陥について	「秘」
2324		『林西県赴任所感』ニ関スル件	大同3年1月12日	岸要五郎(興安西分省林西県参事)		4枚	謄写(ペン)		林西指発第6号、「秘」、「林西県赴任所感」を添付
2325		林西県行政所屬移管ニ関スル風説ニ対シ意見具申	大同3年1月12日	岸要五郎(興安西分省林西県参事官)		3枚	謄写(ペン)		林西指発第7号、「秘」、「林西県行政所屬移管ニ関スル風説ニ対シ意見具申」を添付
2326		『林西県緊急請願事項』ニ関スル件	大同3年1月15日	岸要五郎(興安西分省林西県参事)		3枚	謄写(ペン)		林西指発第8号、「秘」、「林西県緊急請願事項私案一束」を添付
2327		『林西県施設要項改革要項』ニ関スル件	大同3年1月15日	岸要五郎(興安西分省林西県参事)		4枚	謄写(ペン)		林西指発第9号、「秘」、「林西県施設事項改革要項私案一束」を添付
2328		林西県財政之概況ニ関スル件	大同3年1月15日	岸要五郎(興安西分省林西県参事)		1綴	謄写(ペン)		林西指発第10号、「秘」、「林西県財政之概況」を添付
2329		満州国皇帝陛下ニ「散木居奏稿」献上顛末	昭和15年7月28日	田口		1綴	ペン		善隣書院用箋使用
2330		満州秘報	10月12日			1冊	謄写	熱河行政機関の不統一、日系官吏の整理問題、政府部内日系要人の暗闘、ほか	
2331		清国広東同文館概況		長谷川雄太郎(同文館東文教習)		1綴	墨書		
2332		大湊要塞司令官海軍少将上泉徳弥君演説		上泉徳弥		5枚	謄写	大湊について	
2333		経済国難の打開的根本案	(昭和)	白井新太郎		1綴	墨書		

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2656		支那政局ノ概況 第十一号	昭和3年8月25日	外事課		25枚	タイプ	条約廃棄問題につ	「秘」
2657		支那近事概述	昭和5年10月19日	清談閑処 荘		11枚	墨書		某支那通談
2658		[北京不可衝論 対清策 対清策趣意書]	明治27年～33年	宮島大八		1冊	墨書	大八作成の対清論を誠一郎が写したものの	
2659		時事鄙見	大正5年4月3日	宮島大八		1冊	墨書	「今や我帝国ハ大局ノタメニ同洲ノ根本解決ニ任ゼザルベカラザルノ機運ニ會セリ……」	
2660		杞憂一則 張作霖ノ件	大正5年5月14日	(宮島大八)	上原勇作・田中義一	1冊	墨書	北方への運動を開始するにあたっての張作霖に対する方針、ほか	「秘」
2661		[外交意見書]	大正5年6月21日	宮島大八	小池政務局長	1冊	墨書	小池政務局長宛の宮崎大八意見	
2662		時事所感	大正7年1月27日	(宮島大八)		1冊	墨書	馮が北京を去ったあとの情勢、ほか	
中国問題									
2334		[包紙・紐 支那問題]				2枚			
2335		[覚書 日付人名録]	大正2年			1枚	墨書		書込み多し
2336		土地転貸料告知書発送ノ件	大正3年2月10日	鎮海学校組合	宮島大八宛	1綴	墨書		
2337		対袁世凱氏観概要	大正5年1月	末永節		1冊	活版		
2338		[履歴 原口聞一]	大正15年カ			3枚	墨書		
2339		支那ノ排英運動ニ対スル一觀察	昭和2年3月13日			19枚	謄写		
2340		[奉天派の動静につき全満日本人大会上京委員報告]	昭和3年5月13日	全満日本人大会上京委員		1枚	謄写		
2341		声明書(案)	昭和3年5月29日	満蒙研究会		2枚	謄写		
2342		[時局妄言ほか覚書草稿]	昭和3年6月9日			5枚	墨書	満蒙問題	添削多し
2343		支那談話会出席者各位	昭和5年11月14日			1枚	謄写		宮島大八の名前あり

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2344		満洲国即時承認 国民大会及当局 訪問顛末	昭和7年7月9日	満洲問題 拳国一致 各派連合 会		1枚	活版		
2345		趣意書	昭和7年9月15日	皇国青年 芳流会		1枚	活版	皇国青年芳 流会の創設 について	
2346		建国殉難英霊合 祀 満洲靈廟建立 趣意書	昭和7年9月18日	西岡大 元・仏教 連合会		1枚	活版	満洲靈廟建 設への協賛 を求める	
2347		在日朝鮮同胞に 檄す	昭和8年2月	李東華 (黄人社 代表)		1枚	活版	東洋の盟主 日本の下へ の団結を呼 びかける	
2348		支那関係 先輩同 志姓名録	昭和8年3月	東亜同文 会		1冊	謄写		
2349		五月九日上海に 出発シタル邦人某 ノ談話	5月10日	張志潭・ 孫潤宇		4枚	墨書	蒋介石・馮 玉璋・共産 党	添削多し、草稿1枚 を添付
2350		代々木山荘日記 一節	11月15日			2枚	墨書	趙伸との対 談録	
2351		[覚書 清廷後宮に ついて]				1枚	墨書		「陸軍在清国大日 本公使館付」の罫 紙使用
2352		[中国情勢報告書]				1枚	謄写		朱で書込みあり
2353		[人名覚書]				1枚	墨書	山内豊一ほ か	
2354		[政治委員会広東 分会・国民政府役 員名]				1枚	謄写		断簡
2355		[田辺高辰覚書]				7枚	墨書	ロシア入り の話をメモ したものか	
2356		[二月三月四月予 定覚書]				2枚	墨書		
2357		[中国情勢覚書]				8枚	墨書		
2358		褚玉璞				4枚	墨書		無記入罫紙29枚と 同折
2359		[満洲に対する施 措につき意見]				1枚	墨書		
2360		[覚書 東亜連盟、 内治外交作振同 盟]				1枚	墨書		
2361		[覚書 中国情勢]				4枚	墨書		
2362		[中国情勢につい て]				6枚	墨書		添削多し
2363		[覚書 中国情勢]				4枚	墨書		
2364		[覚書 インド洋・中 国情勢]				5枚	墨書		
2365		[中国情勢につい て]				3枚	墨書		添削多し
2366		[覚書 張宗昌ほ か]				3枚	墨書		白紙1枚添付

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2367		[覚書 官話篇・急就篇ほか書籍出版費見積]				1枚	墨書		
2368		陸軍省所管政策満蒙ニ於ケル兵備ノ充実ヲ期ス				2枚	ペン		
2369		[覚書 袁世凱政府の図]				1枚	墨書		
2370		[覚書 江南を領有蒋軍ハ更に…]				1枚	墨書		
2371		高等料理支那食堂御献立		神田維新本店		1枚	活版		
2372		[覚書 松田周二]				1枚	墨書		
2373		鎮海要港部犠牲者遺族陳情、陸軍から突放され損害賠償を訴へん(記事切抜)				1枚	活版		新聞切抜
2374		[断簡 姚震]				1枚	墨書		
2375		[支那教育界の混乱について]				2枚	墨書		
2376		[覚書 林洞海・佐藤泰然]				1枚	墨書		
2377		[清・露関係、伊犁条約について]				1枚	墨書		
2378		[覚書 山田良正ほか]				1枚	墨書		
2379		[覚書 ギギョ・千鳥・雲雀ほか薬効]				2枚	墨書		11月10日香月氏談
2380		[満洲略図]				1枚	墨書		
2381		[覚書 馬ヨリ趙へ話ス]				2枚	墨書		
2382		[覚書 十一年天津ニ於テ宣統ニ謁ス]				2枚	墨書		
2383		[覚書 十年ニ奉直線起]				1枚	墨書		
2384		[覚書 赤松良則ほか]				5枚	墨書		
2385		[覚書 明治三十七年兵部ヲ練兵処]				1枚	墨書		
2386		上三浦將軍書				4枚	墨書		
2387		[覚書 中国情勢大正8年～15年]				2枚	墨書		
2388		[覚書 蔡鐸]				3枚	墨書	排日気分、朝鮮の民族自決論は蒙古独立説にてしよげる	
2389		[中国地図]				3枚	墨書		手書き

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2390		支那紀事		宮島大八		1冊	墨書		「税所篤三君より所惠贈」、漢文挿入
その他									
2391		[行幸地図 三浦半島]	明治14年4月28日 ～6月2日	野村靖		1綴	墨書		
2392		勤学余録	(明治20年)4月12日 ～5月19日	宮島大八		1冊	墨書		保定の張廉卿に至るまでの客路諸雑費出納控え
2393		廿五年 七月伊香保行 九月一日白石行 九月八日横須賀行 諸費	明治25年	宮島大八		1冊	墨書		出納手控え、明治28年7月6日付請求書を添付
2394		証明書	明治28年5月13日	富士重本 (東京市麴町区長)		1枚	墨書		証人証明書
2395		貴族院議員各派別	明治37年～38年			1冊	謄写		「十二月七日於幸俱樂部接受」と書込み
2396		序	明治43年10月	張廷彦 (帝国大学講師)		1枚	墨書	辻武雄著書の序文、支那芝居関係	
2397		控簿	明治44年	宮島大八		1冊	墨書	誠一郎葬儀関係控	
2398		訃電訃報	明治44年3月	宮島大八		1冊	墨書	訃報通知先控	記述のある丁は紙縫で留めてある
2399		判決謄本	大正3年6月12日	東京控訴院裁判所書記		1冊	謄写		阿部守太郎殺害事件に関与した善隣書院学生の裁判判決文
2400		建白書写	昭和13年3月15日	大竹貫一 (貴族院議員)・上泉徳弥 (海軍中将)	参謀総長・軍令部総長	11枚	謄写	即戦即決を求める	
2401		[覚書 儉・喪・憂]				1冊	墨書		記述少なし
2402		[覚書 干支、誠を以て道に志す]				2枚	墨書		
2403		語言				1冊	墨書		中国語練習ノート
2404		[諸氏人名録]	大正期			1枚	ペン		原稿用紙に人名書付
2405		[習書 陶侃故事]				1枚	墨書		漢文
2406		[人名覚書]				1枚	墨書		
2407		[鎮海現世音仏像の由来について]				1枚	墨書	「明治三十三年北清事変…」	断簡、1頁
2408		[和文俗訳課題]	12月7日～23日			1冊	墨書	「甲午以来中国二八	
2409		[英蘭について]				1綴	墨書		漢文
2410		[習書 断簡]				1枚	墨書	「易於反掌…」	
2411		[清国人士との対話録]		宮島大八カ		1冊	墨書	「久仰大名…」	漢文

宮島誠一郎関係文書(追加)目録

番号	枝番	標題	年代	作成	宛先	数量	記述法	内容・書き出し	備考
2412		山田行元先生口授 地球略志		宮島大八		1冊	墨書	地球略志、江戸名所抜萃、今古和漢文稿ほか	
2413		詠士先生方家正		瑞洵		1枚	墨書	漢詩	
2414		宮島詠士先生降世百年景慕詩	昭和43年	景嘉		2枚	墨書		拓本を添付
2415		鷹山公偉蹟録 三、政教篇上之上				1冊	墨書		
2416		米沢案内	大正13年12月27日	高島兵衛		1冊	活版		表紙はずれ、書込みあり
2417		米沢郷土年表	昭和10年1月25日	椿辰之助		1冊	活版		乱丁、書込みあり
2418		米沢市全図	昭和6年9月10日	盛文堂書店・大正堂書店		1枚	製版		
2419		[原稿用紙]				1枚			無記入
2663		有隣会会員	明治43年7月調			1枚	活版		書込みあり、2663～2665は挟込み一括
2664		一水会申合 付会員名簿	大正4年7月			1冊	活版		書込みあり、2663～2665は挟込み一括
2665		一水会申合 付会員名簿	大正5年7月			2冊	活版		書込みあり、2663～2665は挟込み一括
2666		[宮島大八ノート]		(宮島大八)		1冊	墨書	職制、日記などの記録や写しほか	支那関係、いくつものノートを綴じたもの
2667		北京恢弘塾要綱		北京恢弘塾		1枚	活版		
漢詩文									
2420		遊学草 詠帰詩集	明治20年～23年	宮島大八		1冊	墨書		大八の詩集を誠一郎が写し黎庶昌が批評したもの
2421		甲午詩草	明治27年	宮島大八		1冊	墨書		漢詩8篇
2422		東海吟 二集	大正3年10月	宮島大八		1冊	墨書		
2423		度隴吟				1冊	墨書		
2424		[詩稿 適園春宴ほか]				1冊	墨書		付箋多数
2425		[詩稿 贈日本川島風外先生七律一首ほか]				1冊	墨書		付箋多数、東海吟三集の表紙・覚書「蕭何封鄼侯…」を挟み込み
2426		[漢詩 日本東京看杜鵑花ほか]				1枚	墨書		
2668		蕪稿		宮島大八		1冊	墨書		漢詩